

国会議員・知事と活動共有 農政推進の集い開催

JA高知中央会と高知県農協農政会議は1月5日、高知市で農政推進の集いを開きました。JAグループ高知の代表者や国会議員、県知事など約70人が出席し、令和5年の全国・高知県の農政活動結果や次年度の農政運動基本方針などについて共有しました。

同会議の久岡隆会長（JA高知中央会会長）は「昨年は国会議員の先生方より、基本法改正における食料自給力の見直しをはじめとした食料安全保障に関する考え方を国会でも発言いただいたことで、JAグループが行ってきた要請が来年度予算にも反映されるようになった。基本法改正が行われる今年は、さらに農政推進の機運を盛り上げたい」とあいさつしました。

JA全中農政部農政課の藤本卓課長が農政をめぐる情勢と今後の取り組みについて発表し、JAグループの考えを十分反映させるための農政運動を展開することの必要性を訴えました。JA高知中央会総務企画部の藤井洋光部長は、JAグループ高知における昨年の農政運動結果について、県選出国会議員や県知事・県議会への要請のほか、JAグループが取り組む国消国産運動に合わせて、消費者理解醸成のためのポスターやCMを独自で作成したことを報告。最後に同会議の宮地幸副会長が「ガンパロー三唱」を行いました。



「ガンパロー三唱」を行う出席者ら

第59回高知県茶品評会表彰式

土佐茶振興協議会は12月9日、JA高知ビルで第59回高知県茶品評会の表彰式を開き、最優秀賞（高知県知事賞）の池川茶業研究会池川茶業組合などを表彰しました。

同協議会は昨年7月に令和5年度の審査会を実施。県内産地から42点の出品があり、審査員が外観・水色・香り・滋味の観点で最優秀賞1点、優秀賞2点、優良賞4点を選びました。

審査員長を務めた県農業技術センター茶業試験場の宮崎清弘場長は「今年は適度な降水量もあり、お茶の生育にとって比較的良好な年だった。上位のものは煎茶特有の爽快感を感じさせる、『うま味』等が調和した秀品が揃っていた」と評しました。

最優秀賞を受賞した同組合の品原伸代表理事は「来年も最優秀を目指す。一層気を引き締めた生育管理を行い、良い茶畑を保っていききたい」と意気込みを語りました。



受賞者をたたえた品評会表彰式

その他の受賞者（敬称略）は次の通りです。

[高知県農業協同組合中央会長賞]池川茶業研究会池川茶業組合・山中忠一
[高知県農業協同組合長賞]池川茶業研究会池川茶業組合・山中隆志
[土佐茶振興協議会長賞]池川茶業研究会池川茶業組合・竹村憲太郎／池川茶業研究会池川茶業組合・品原伸／JA高知県高西地区津野山茶生産組合・久川和彦／JA高知県高西地区津野山茶生産組合・野本良幸

2月
2024年

JA健康寿命100歳プロジェクト ～薬剤師のワンポイントアドバイス～

いい夢見ましょう

こうぐりをご覧のみなさん、2024年となりひと月が過ぎました。いかがお過ごしでしょうか？

みなさんは、もう「初夢」を見たことと思います。一富士、二鷹、三茄子。

日本で昔から初夢に見ると縁起がいいといわれているものです。

いい夢を見るためには、睡眠のリズムがポイントです。

睡眠にはリズムがあり、浅い眠りのレム睡眠と深い眠りのノンレム睡眠に大きく分かります。

レム睡眠では、脳波活動は活発でこのときに夢を見ます。体の筋肉が緩むため体を休めている時でもあります。

また、ノンレム睡眠では、脳波活動が穏やかで脳を休ませている時です。

眠りははじめから目覚めまでの間に、これら2つの眠りを数回繰り返します。睡眠のリズムを知っていい夢を見ましょう。

今年がみなさんにとりまして、より良い年でありますように。

薬剤師 矢嶋 幸一（メディカル調剤株式会社）



大野見地区より



作文・図画で受賞したよ!

令和5年に開催された「第48回『ごはん・お米とわたし』作文・図画高知県コンクール」の図画部門において、大野見小学校6年生の平岡叶望さんの「おいしいお米で育つ私」と、同じく6年生の下元里桜さんの「繋がる力」、作文部門では5年生の西岡菜優さんの「わが家のお米は日本一!」が受賞されました🌟

どんなことを思って作品を作られたか聞いてみると、平岡さんは「身近においしいお米のある有難さを思って絵を描きました」、下元さんは「祖母や地域の生産者の方がおいしいお米を作ってくれているので、そのお米をおいしく食べていることが伝わるように描きました」、西岡さんは「お米を作っている家族が、そのお米のことを大切に育てているところを作文にしました」と語ってくれました。

皆さん揃って「夏休みに頑張って作品を作ったので、賞に選ばれてとっても嬉しい!!」と受賞された気持ちを笑顔で話してくれました😊そしてなんと、平岡さんの作品は全国大会に出展されることになりました!

これからも大野見のおいしいお米をたくさん食べて、元気に楽しい毎日を過ごしてください♥

左から 西岡 菜優さん、平岡 叶望さん、下元 里桜さん

8、18、19ページに関連記事があります。平岡さんの作品も掲載!



津野山地区より



いつも仲よし夫婦!

うえ た つぐお
上田 二男さん
きみこ
喜美子さん

津野町北川で仲良く作業している上田さん。5人の孫たちとピザパーティーをするためにピザ🍕を置く台を作成中!!

ユズやぶどうの栽培など沢山の種類の家庭菜園をしている2人。去年はたくさんユズが収穫できたと喜んでいました。

二男さんは、国の重要無形民俗文化財に指定されている「津野山古式神楽」保存会のメンバーです。ふるさとの伝統芸能を次世代に伝え継ぐため、様々な体験学習や学校へ出向いているそうです。時間が空いたら旅行やドライブへ行く仲よし夫婦です♥



興津支所より



興津園芸女性部新年会

興津園芸女性部の皆さん

1月15日に、興津支所にて四十地区興津園芸女性部は新年会を開催しました。

ここ数年、コロナ禍で集まって女性部の活動ができない状況が続いていましたが、今年は久しぶりに開催する事ができました。

当日は女性部さんが朝早くから準備し、みょうがを使ったお寿司など色とりどりの美味しそうな料理が並びました。部員・職員合わせて35人の参加者で料理に舌鼓を打ち、ビンゴ大会も盛大に行われました。参加した園芸女性部員さんからは「なかなか部会で集まる事が無かったので、こうやって新年会を開催する事が出来て良かった。来年もぜひ行いたい。」とお話もいただき、大変盛り上がった最高の1年のスタートとなりました。



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



民謡教室による踊りの披露

1 四万十地域 4年ぶりに開催！ JA高知県四万十地区 家の光大会

12月4日、四万十農協会館で「JA高知県四万十地区家の光大会」が4年ぶりに開催されました。久しぶりに開催された大会には、女性部77人が参加。家の光協会の南さんをお招きし、情勢報告が行われました。

また日頃の活動報告として、各支部の女性部が「家の光」を参考に作成したアクセサリやパッチワークなどさまざまな作品も展示され、細かな造形に多くの方が注目を集めていました。その後行われた「家の光記事活用体操」365歩のマーチでは、音楽に合わせてながら参加者みんなで和気あいあいと体を動かしていました。

民謡教室やフラダンス同好会、大野見支部の踊りの披露や恒例のお楽しみ抽選会も行われ、さまざまな催しに「楽しかった、来年も開催してほしい」などの声が聞かれ、会場中が終始笑顔に包まれていました。



出品された牛がセリ落とされていきます

2 津野山地域 令和6年初セリ市開催

高原畜産センターで1月20日、高原家畜市場の令和6年初セリ市が開催されました。今回は成牛3頭、子牛40頭の肉用牛が取引され、県内外から参加した購買者がセリ開始前から牛を隅々まで観察し、どの牛を購入するか見定めていました。

開会されると、まずは成牛が入場。子牛に比べ一回り二回りも大きく、落ち着きのある立ち振る舞いで、歩く姿は身近で見ると力強さとエネルギーを感じました。成牛の取引後は、子牛が入場。いつもと違う環境に戸惑いながらも関係機関の職員らに連れられた子牛が一生懸命歩みを進めていました。生後約8カ月ですが、体重は200kg後半にもなります。

高原家畜市場では農家数の減少、販売価格の下落等さまざまな要因により、過去の市に比べると出荷頭数が半減しています。高知県の畜産の振興につながるよう今後も取り組んでいきます。

お知らせ「セリ実施月の変更について」
令和6年4月より、奇数月20日に行っていたセリ市は偶数月20日の開催に変更となります。令和6年3月20日・4月20日は連続開市となります。

3 四万十地域 四万十二ラ部会 出荷検討会を開催



令和6年も一丸となって取り組んでいきます

四万十二ラ部会は12月12日、令和6園芸年度の出荷検討会を4年ぶりに開催し、生産者ら約40名が参加しました。

会では、一昨年と昨年度の反当収量および秀品率上位者の表彰を行いました。また、主要取引市場2社と営農販売事業本部から情勢報告をいただきました。同部会では65戸の生産者が約20ヘクタールで栽培を行っており、計量結束機を導入した新出荷場も稼働し始めた中、作業効率を向上させ、今後とも出荷量・販売高並びに品質の向上を図ることを決議しました。

4 四万十地域 女性部のミニミニ料理教室



おすすめの一品を紹介！

四万十地区女性部窪川支部は12月6日、直販所「みどり市」でミニミニ料理教室を開きました。今年度はコロナの影響もあり久しぶりの開催で月に一度各支部の女性部の皆さんが来店者に料理を振る舞っています。今回は山菜おこわ、ほうれん草とわかめのオイスターソース和え、サトイモのそぼろ煮を振る舞い、来店者に作り方のコツや手軽さを紹介しました。来店者からは「おいしい！家に帰って真似して作りたい」との声などが聞かれとても好評で料理を楽しんでいただきました。

5 四万十地域 青壮年部興津支部が 清掃活動



空き缶などが多く回収されました

JA高知県青壮年部興津支部は12月22日、興津坂の清掃活動を行いました。コロナ禍でしばらく実施できていませんでしたが、久しぶりの清掃に部員ら20人が参加しました。

部員らはグループに分かれて興津坂の路肩などから空き缶やペットボトルなどのゴミを回収。参加した同青壮年部の久保田真史部会長は「小中学校が閉校となり活動が少なくなってきたが、コロナも落ち着いてきたこともあり青壮年部で清掃を再開することができた。今後も活動を通して地域に貢献していきたい」と話しました。

6 津野山地域 行事を彩る花木 出荷してます



束で出荷されるアジサイ

年が明け、津野山地域では冬から春の出荷物として花木の出荷・受入が始まりました。アジサイ・ハナズキ・ハナモモ・桜の出荷が2月いっぱい予定されています。

出荷時期の調整が難しいため、生産者から持ち込まれた花木類は温室ハウスで保温管理し、蕾の膨らみなどを確かめながら生育具合を調整していきます。これらの花木は、主に関西方面へと出荷。卒業式・ひなまつり・生け花などでの利用が見込まれ、さまざまな節目のイベントに色どりを添えます。これから春を迎えようとする季節に、花や芽吹きで日本らしさを表現する癒しとなることでしょう。

特別栽培米と一緒に作ってみませんか？

JA高知県四万十エコ栽培米生産部会では、14名の部会員が、国の定める特別栽培米の基準に沿って「にこまる」「びかまる」を栽培しています。なかでも、部会で定めた高い品質基準をクリアしたものを、「厳選米」として県外の100社近い米穀店へ販売し、たいへん好評を頂いています。

また部会では、厳選米の中から毎年数点を県外のお米コンテストに出品しており、今年も「お米日本一コンテストinしずおか」において、四万十町本在家の武吉孝夫氏が全510点の中からベスト12位に選ばれ金賞を受賞しました。

なお、特別栽培米生産ガイドラインおよび部会の定める要件に沿うため、栽培には慣行米と比べて手間が掛かりますので、通常の買取価格に奨励金を加算してお支払いいたします。



少しでも興味がある方は下記までご連絡をお願いします！！

私たちと**日本一おいしいお米**を目指して一緒に栽培しませんか。



連絡先

JA高知県 高西営農経済センター 販売課 安岡・西森 (TEL.0880-22-3586)

令和6年 温湯消毒作業(籾種)の実施について

温湯消毒につきまして、下記のとおり実施しますので、ご確認のうえ必ず前日までに予約頂きご利用ください。

作業時間 8時30分～16時

利用料金 75円/kg(税込)
※原則「購買未収金」での決済をお願いします

注意事項 前日までに必ず予約をお願いします
(集中しますのでお早めに)



東大奈路 CE前

作業期間 3月11日(月)～5月2日(木)
※日曜・祝日は休業

連絡先 販売課
(TEL.0880-22-3586)

大野見支所

作業期間 3月25日(月)～4月26日(金)
※月・水・金のみ営業

連絡先 大野見支所購買
(TEL.0889-57-2204)



四万十地域より

枝豆栽培始めませんか？



管内の枝豆栽培は・・・

平成27年から枝豆プロジェクトとして取組みがスタート。栽培品種や出荷時期など栽培技術の研究を進め、平成28年には研究会組織として発足。その後脱莢機の導入など、出荷調整作業の効率化にも取り組み、産地化を進めています。

JA高知県四万十枝豆研究会では「湯あがり娘」という茶豆風味の品種を主力に量販店との契約出荷を行っています。風味豊かな食味が大変好評で消費者の皆さんからも喜んでいただいています。是非、一緒に枝豆栽培に取り組んでみませんか？

共同機械「脱莢機」の利用

以前は枝豆の莢を1つ1つ手作業で千切っていましたが、機械の導入で脱莢作業の大幅な省力化を図っています。



興味がある方は下記連絡先までご連絡ください！！

連絡先

JA高知県 高西営農経済センター 営農指導課 小野 (TEL.0880-22-5179)

「青色申告」に取り組みませんか？

～説明会のご案内～

「青色申告」は、日々の取引を記帳し帳簿に基づいて正しい申告をすることで、税金の面で様々な特典を受けることができる大変おすすめの制度です。

また、新しく導入された収入保険制度においても、青色申告を行っている事が加入条件とされています。**今年から青色申告を開始される方は、令和6年3月15日までに税務署への申請書提出が必要となります。**

下記の日程で青色申告について説明会を開催いたします。

日時 令和6年2月27日(火) 13時～15時

場所 高西営農経済センター 2階 大会議室

※予約制となっておりますのでご希望される方は下記連絡先まで事前にご連絡をお願い致します。



連絡先

JA高知県 高西営農経済センター 営農指導課 河野 (TEL.0880-22-5179)

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

がたがたと雨戸叩きて冬將軍
ケアハウスに赤ちゃん人形冬麗ふゆうら

市川 和美

初雪に犬は喜び駆けまわる
年の瀬の夕焼け空に手を合せ

田中 信子

ひと葉だに無きぞ悲しき冬木立
久方のなじみのカフエに落葉踏む

今橋 孝子

沖よりの寒風荒ぶ避難塔
散り惜しみ枝にからまる冬紅葉

長谷部 延子

秋彼岸雨の降る日のあの湯かな
蓮の花間に見えて紅や白

竹内 春猪

短歌

窪川短歌教室

仕方なし子の送り来しヘルメット帽子の上に重ねてかぶる

市川 隆子

はだかん坊の新生児がごろと寝かされて泣く声弱しガザの産院

島岡 紀美

チャットGPTよりもあなたの心ある熱い言葉で伝えてほしい

竹田 和子

めづらしく助手席なれば旅心ふつふつとして湾岸をゆく

黒岩 やよえ

敬老の日の孫からのプレゼント菓をはさみコスモス誌を読む

中内 佐登美

食材が豊富に揃う里の秋新米柿栗大根しいたけ

北村 さち子

どちらにも止めよと言へぬ根深さのカナンの戦さ悲しむばかり

市川 浩子

そば猪口にそば湯をとろり注ぎつつ五感満たせりもみじの下に

文野 見枝子

俳句

◆◆◆ おたよりから ◆◆◆

初雪に山茶花震え綿帽

(橋原町・松山 松美)

風の中みんな斜めの樹水かな

(津野町・村田 三喜子)

庭隅のどうしたツツジ帰り花

(津野町・弘瀬 秀頼)



組合員の皆様へ



JA 葬祭 ルミエール四万十

紙上終活セミナー②

いのちの積み木®

今回は「いのちの積み木®」のご紹介です。

「いのちの積み木®」というのは、目に見えないはずのご先祖さまを「見える化」した積み木(おもちゃ)です。栃木県宇都宮市にある浄土宗光琳寺の井上広法副住職が考案されたもので、家系図を積み木で表して立体化したものです。

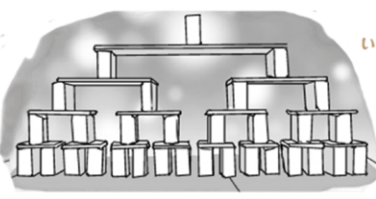
「いのちの積み木」は5段の重なりからなっています。一番下が16人のひいひいおじいちゃんとおばあちゃん。下から2段目が8人のひいおじいちゃんとおばあちゃん。下から3段目が4人のおじいちゃんとおばあちゃん。下から4段目がお父さんとお母さん。そして一番上が自分になります。

※考えにくい時は自分にとって大切な人・お世話になった人として考えてみてくださいね。この中の誰かの積み木を抜くと、その上に重なっている人たちは崩れ落ちてしまいます。つまり、私たちはご先祖様がいなくなったら存在しないことを証明しています。(いのちの積み木ホームページより)

皆さんは何人の名前がわかりますか？ご家族が集まった時、お墓参りに行ったときに調べてみると良いかもしれません。

●「当たり前」⇔「有難い」●

『ありがとう』の語源は、元々仏教の『有り難い』から来ています。めったにない、まれなことだから『ありがたい』、だから感謝を表す意味になるのです。実は、私たちが今、この一瞬一瞬を生きていることはとても『ありがたい』ことなのですが、私たちは普段それを『当たり前』だと思って過ごしてしまうことが多いと思います。



※「エンディングノート」「事前相談」「終活」「ご葬儀」に関するお問い合わせ
JA 葬祭 ルミエール四万十 (0880) 22-5900